

【北海道ヘリテージラボ】第0回
【北海道活性化探求塾】札幌チーム 番外編

クールな田舎のつくり方
～地域資源を活かしたまちづくりの What から How へ～

日 時：平成 31 年 3 月 28 日（木） 18:30～20:30 （終了後に懇親会を予定しています）

会 場：かでる 2・7 510 会議室（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

<http://homepage.kaderu27.or.jp/intoro/access/>

定 員：50 人

参加費：500 円

地方創生の名のもとに全国で地域資源を活かしたまちづくりが進められています。“宝さがし”といった形で地域資源の発掘も行われていて自分たちの地域の資源は何か、それを使って名何をすべきか（What）は皆がわかついていて、実際にスタートする時に「誰が」「どのように」で立ち止まってしまう例も多く見受けられます。今回は飛騨古川で地域資源を活かした数々の取組みを実現させ、政府の観光関連等の委員や日本遺産の審査委員なども務める山田拓さんをゲストにお招きし、地域資源を活かしたまちづくりをどのように（How）進めていくかをご自身の取組みを元に紹介していただくとともにできるかぎり多く意見交換の時間をとて、参加者の皆さんと意見交換を行う予定です。

ゲスト：山田 拓 さん

（株）美ら地球 CEO、総務省地域力創造アドバイザー、内閣官房クールジャパン・アンバサダー、NPO 法人 日本エコツーリズム協会 正会員
イナカを巡る外国人向けプラットフォーム SATOYAMA EXPERIENCE を運営。外資系コンサルティング会社を退職し、足かけ 2 年にわたる世界のツーリズムを学ぶ旅を経て、飛騨古川に移住。里山や民家などの現存する地域資源を活かしたツーリズムを主とした数々の地域再生ソリューションをプロデュース。平成 24 年地域づくり総務大臣表彰にて個人表彰を受けるほか、環境大臣賞（「五感で感じるまち大賞」、平成 23 年）、グッドデザイン賞（平成 25 年）、エコツーリズム大賞優秀賞（平成 26 年）など、多方面からの評価を受ける。近年、空き古民家をオフィス用途に転用した「里山オフィスプロジェクト」にも着手。著書に『外国人が熱狂するクールな田舎の作り方』（平成 30 年、新潮社）



主 催：北海道遺産協議会

協 力：北海道活性化探求塾

お申込み：北海道遺産協議会事務局（担当：萩、矢野 info@hokkaidoisan.org）まで

※氏名、所属、連絡先、懇親会への出欠をお知らせください（3/25 まで）

※北海道ヘリテージラボは、平成 30 年に第 3 回選定が行われ全 67 件となった北海道遺産を始めとする北海道の歴史・文化・自然などの地域資源の持つ価値をどのように守り・伝え・活用していくかを考える勉強会です。今後年に数回のペースで開催していく予定です。

※北海道活性化探求塾（略称：活性探）は「北の観光リーダー養成セミナー」から生まれた取り組みです。「北の観光まちづくりリーダー養成セミナー」は、北海道庁の事業として平成 20 年度に始まり、平成 26 年度まで 7 期にわたり開催されました。修了生を中心とする 270 人程のメンバーが「きたかん.net」というネットワークに参加しており、道内各地で活躍しています。